

六 郷

○ひとりだちのできる たくましい生徒の育成
○人権感覚豊かな 思いやりのある生徒の育成

学校便り 5月号
令和2年5月15日
松阪市立嬉野中学校
校長 山下 隆久

『笑顔』と『あいさつ』で 地域貢献日本一の学校に!



新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校が続くなか、生徒のみなさん一人ひとりが、いま何をすべきか考え、命を守る行動を実践して、日々を過ごして再開に備えてくれていることに、先生たちは感謝しています。

嬉野中学校は、自分が自分らしく生きる「ひとりだち」と、他者の様々な価値を受けとめる心を意味する「豊かさ」を自分の力にできることを目的としています。学校が再開したら仲間とともに、日々の活動を通して自分の可能性を広げていってほしいと思います。

4月から今までの間に、校区の方とお話をする機会がありました。ある公民館長さんが「公民館の行事に吹奏楽部の人たちが来てくれて、地域の人たちが喜んでいました。今年もお願いします。」と言われました。住民協議会のある方は「生徒会の人や家庭部の人たちと一緒に活動して、私たちは元気をもらいました。」と伝えてくださいました。

4月のある日の出来事です。地域の方からお電話をいただきました。内容は「野球部が朝練の時に、しっかり気持ちの良いあいさつをしてくれて、私たち老夫婦は気持ちの良い元気が出た一日のスタートをいただきました。」というものでした。この話を聞いた私は、嬉野中学校の生徒の頑張りや、嬉野中学校の生徒の「笑顔」や「あいさつ」は、嬉野地域の方々に元気をプレゼントしているのだと感じました。

このような地域の方々のお声を聞き、「『笑顔』と『あいさつ』で地域貢献日本一の学校にする!」ということが、嬉野中学校長としての私の夢になりました。

生徒のみなさん、嬉野中学校にいて良かったと思える学校を一緒に築いていきましょう。保護者の皆様そして地域の方々、ご支援ご協力をよろしく願いいたします。

学校の環境を整えています!



休校期間中に先生たちで、学校再開されたとき生徒のみなさんが、なんか学校が整っていて気持ちいいなあと思えるように、草刈りをしたり教室整備をしたりして環境を整えています。先生たちだけでは行き届かないところもあるので、学校再開されたら、みなさんもお願いします。

写真は、校務員の安保さんと松岡先生が学習室

の授業で活用する畑を耕し、肥料をまいているところです。いまは畝(うね)も仕上がり、苗を植える準備OKです。



学年別課題提出日



金曜日3年生、月曜日2年生、火曜日が1年生と指定して、また8時30分からは出席番号1番から8番までの生徒が提出物を出したり新たな課題を受け取ったりするという分散の形式で、学年別課題提出日を実施しました。



やはり生徒のみなさんの声ができる学校がいいです。この思いは先生たち共通の気持ちです。久しぶりの学校はどうでしたか？学校が再開されても、休校以前の生活に、すぐ戻れるわけではありません。



感染防止対策をしながら学校生活を進めるための工夫を、先生たちは考えていきます。生徒のみなさんも良いアイデアが思い

ついたら教えてください。嬉野中学校が居心地の良い、安心・安全な居場所になるよう一緒に考えていきましょう。



保護者・地域の皆様、日頃は中学校の教育活動にご理解・ご支援ありがとうございます。徐々に学校再開が進みますが、このような折、ご相談させていただいたりご無理をお願いさせていただいたりすることもあると思います。「子どもたちのために」を中心に据えて、ともに考えていただきますようお願いいたします。

啐啄同機(そったくどうき)



左のような「啐啄同機」と刻まれた碑が中学校内の、ある場所にあります。ご存じですか？「啐啄同機」とは、親鳥が卵を温めていると、卵の中の雛が卵の殻を「コツコツ」とつつく音が聞こえ、その音を親鳥が聴く知り、雛が誕生するのだそうです。これは、雛鳥と親鳥との双方の心が通じ合ったことを意味しています。このとき雛の心に大きな望みが生まれ、少しの迷いもなく雛鳥が誕生できると言われています。このことをとらえ、機を得て両者が相応することという意味です。

嬉野中学校教育の原点となる考え方が、この碑に刻まれています。この碑の周りを先生たちが草刈りをして整えました。



6月のおもな行事予定

- 1日(月)～30日(火) 教育相談期間
- 10日(水) 嬉野中学校創立記念日
- 22日(月) 生徒会委員会
- 25日(木) 生徒議会
- 29日(月) 大掃除、安全点検

